

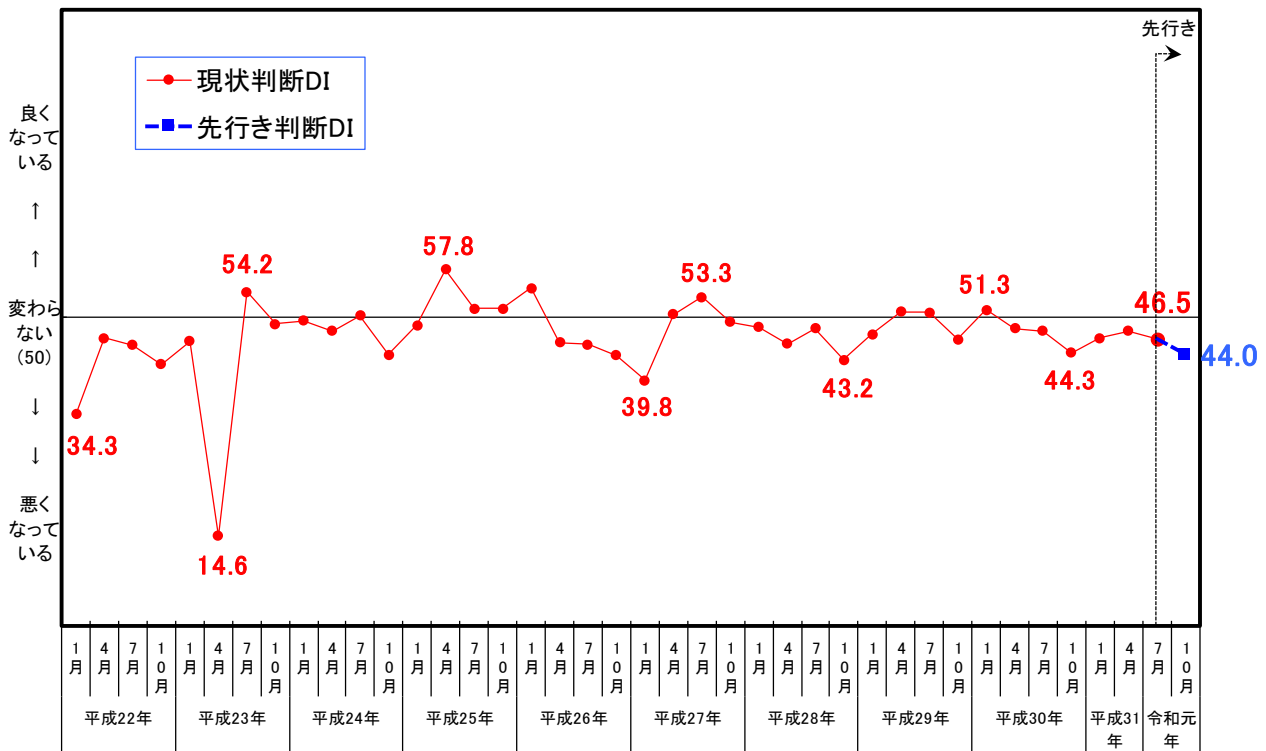
# 青森県景気ウォッチャー調査 (令和元年7月期)

調査期間 令和元年7月1日～7月20日 回答率100%

**概 況**

7月期の景気の現状判断DIは46.5となり、6期連続で50を下回った。  
先行き判断DIは、現状判断DIと比べて2.5ポイント減少の44.0となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



令和元年8月

青森県企画政策部統計分析課

## 1. 結果概要

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が増減なし、「やや良くなっている」が3.0ポイント減少、「変わらない」が2.0ポイント増加、「やや悪くなっている」が増減なし、「悪くなっている」が1.0ポイント増加により、全体では1.3ポイント減少の46.5となり、景気の横ばいを示す50を6期連続で下回った。

判断理由では、来客数の増加や受注件数の増加などのプラス面がある一方で、大型連休後の反動、消費増税前の買い控え、原料高や人手不足などによる経費の増大などといったマイナス面をあげる声があった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で1.0ポイント増加、企業関連で8.3ポイント減少、雇用関連で7.1ポイント減少した。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、県南地区で増加し、津軽地区で増減なしとなり、東青地区、下北地区で減少した。DIは、全地区で景気の横ばいを示す50を下回った。

### (2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が3.0ポイント減少、「やや良くなる」が9.0ポイント減少、「変わらない」が5.0ポイント減少、「やや悪くなる」が14.0ポイント増加、「悪くなる」が3.0ポイント増加により、全体では8.8ポイント減少の44.0となり、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに下回った。

判断理由では、消費税増税前の駆け込み需要や、夏の観光シーズンを迎え、観光客や帰省客による消費活動が活発化することを期待する声があった一方で、消費増税後の消費の冷え込みや将来の不安、海外情勢への懸念をあげる声があった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で4.7ポイント減少、企業関連で25.0ポイント減少、雇用関連で10.7ポイント減少した。家計関連では特に小売で大きく減少した。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが減少した。DIは、全地区で景気の横ばいを示す50を下回った。

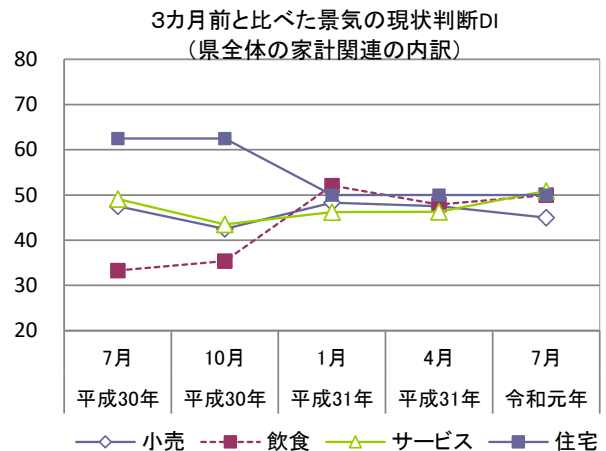
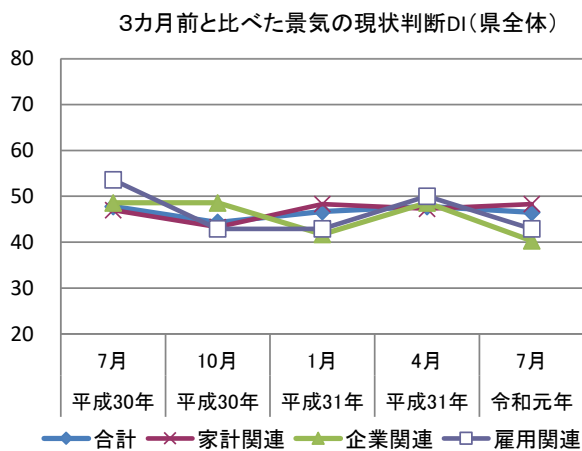
## 2. 県全体の動向

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

#### ①DI

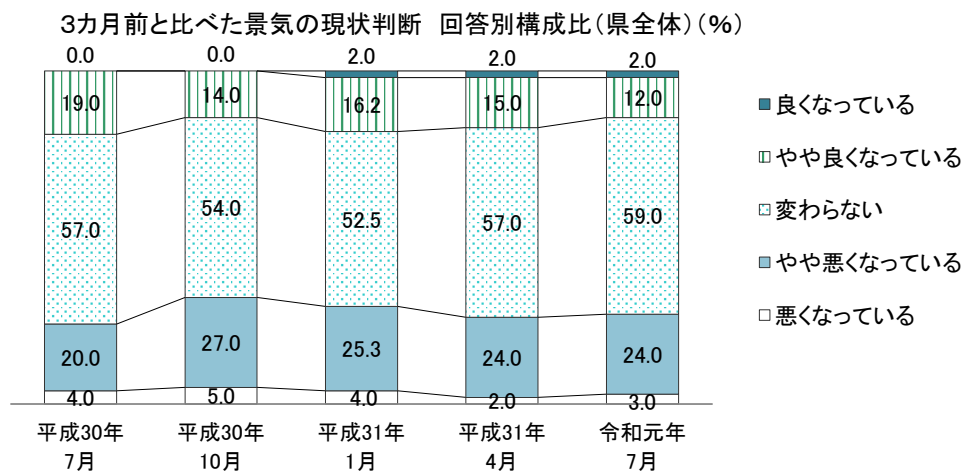
n= 100

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>47.8</b>	<b>44.3</b>	<b>46.7</b>	<b>47.8</b>	<b>46.5</b>	<b>▲ 1.3</b>
家計関連	47.0	43.3	48.3	47.3	48.3	1.0
小売	47.5	42.5	48.3	47.5	45.0	▲ 2.5
飲食	33.3	35.4	52.1	47.9	50.0	2.1
サービス	49.1	43.5	46.2	46.3	50.9	4.6
住宅	62.5	62.5	50.0	50.0	50.0	0.0
企業関連	48.6	48.6	41.7	48.6	40.3	▲ 8.3
雇用関連	53.6	42.9	42.9	50.0	42.9	▲ 7.1



#### ②回答別構成比 (%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0
やや良くなっている	19.0	14.0	16.2	15.0	12.0	▲ 3.0
変わらない	57.0	54.0	52.5	57.0	59.0	2.0
やや悪くなっている	20.0	27.0	25.3	24.0	24.0	0.0
悪くなっている	4.0	5.0	4.0	2.0	3.0	1.0



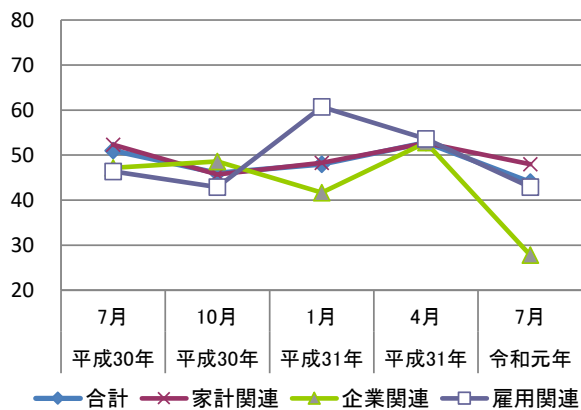
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

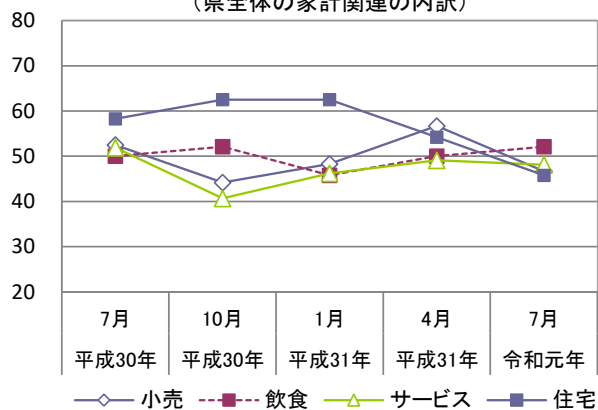
n = 100

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>51.0</b>	<b>46.0</b>	<b>48.0</b>	<b>52.8</b>	<b>44.0</b>	<b>▲ 8.8</b>
家計関連	52.3	45.7	48.3	52.7	48.0	▲ 4.7
小売	52.5	44.2	48.3	56.7	46.7	▲ 10.0
飲食	50.0	52.1	45.8	50.0	52.1	▲ 2.1
サービス	51.9	40.7	46.2	49.1	48.1	▲ 1.0
住宅	58.3	62.5	62.5	54.2	45.8	▲ 8.4
企業関連	47.2	48.6	41.7	52.8	27.8	▲ 25.0
雇用関連	46.4	42.9	60.7	53.6	42.9	▲ 10.7

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



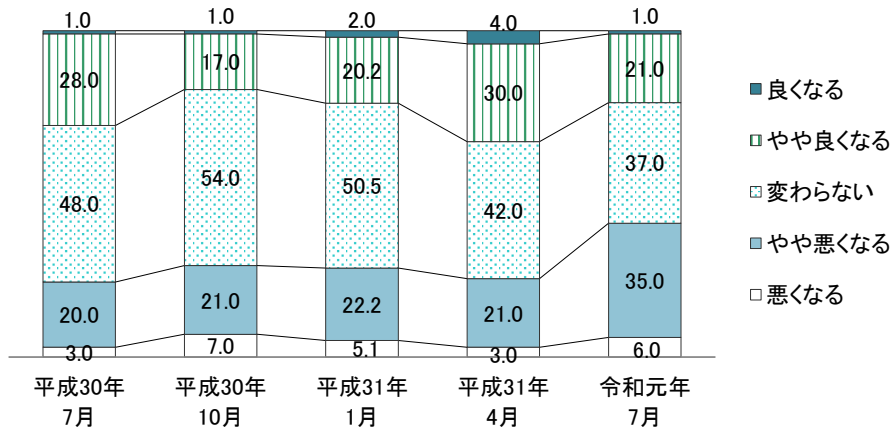
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	2.0	4.0	1.0	▲ 3.0
やや良くなる	28.0	17.0	20.2	30.0	21.0	▲ 9.0
変わらない	48.0	54.0	50.5	42.0	37.0	▲ 5.0
やや悪くなる	20.0	21.0	22.2	21.0	35.0	▲ 14.0
悪くなる	3.0	7.0	5.1	3.0	6.0	▲ 3.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)(%)



### 3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

#### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

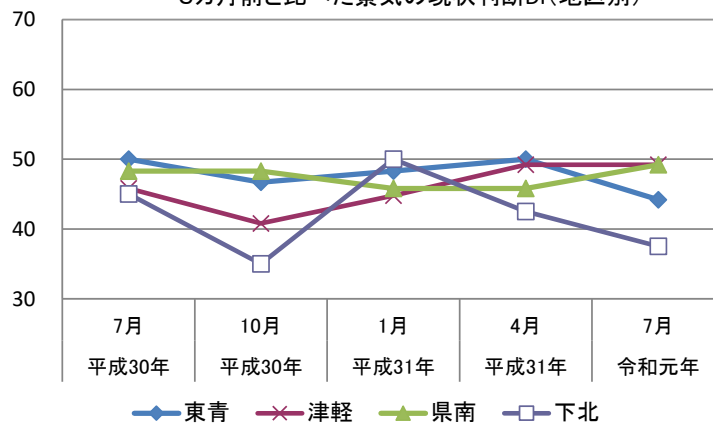
<地区別>

①DI

n = 100

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>47.8</b>	<b>44.3</b>	<b>46.7</b>	<b>47.8</b>	<b>46.5</b>	<b>▲ 1.3</b>
東青	50.0	46.7	48.3	50.0	44.2	▲ 5.8
津軽	45.8	40.8	44.8	49.2	49.2	0.0
県南	48.3	48.3	45.8	45.8	49.2	3.4
下北	45.0	35.0	50.0	42.5	37.5	▲ 5.0

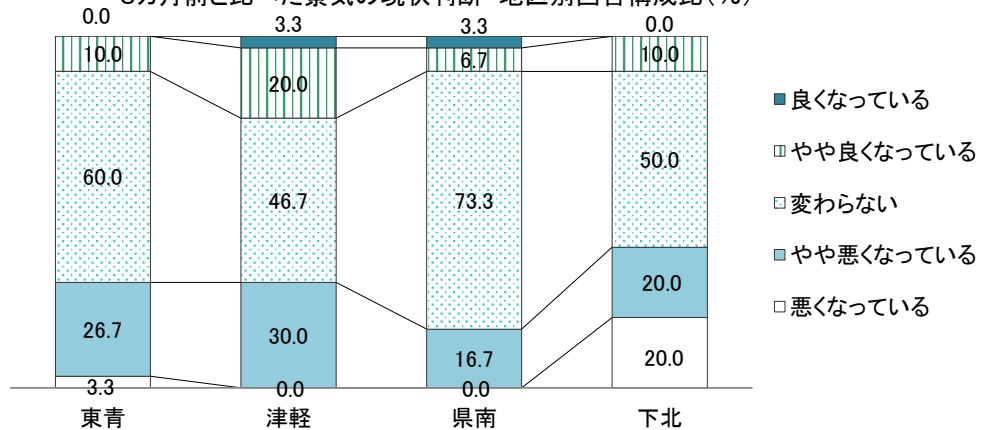
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(地区別)



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	0.0	3.3	3.3	0.0
やや良くなっている	10.0	20.0	6.7	10.0
変わらない	60.0	46.7	73.3	50.0
やや悪くなっている	26.7	30.0	16.7	20.0
悪くなっている	3.3	0.0	0.0	20.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 地区別回答構成比(%)



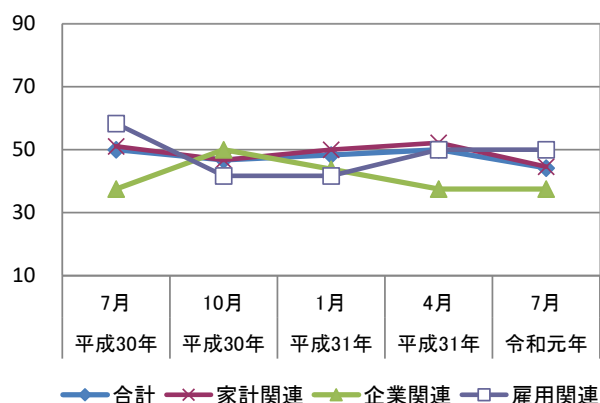
<東青地区>

①DI

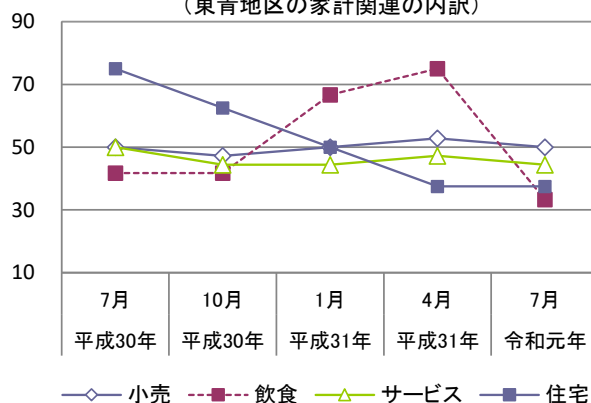
n= 30

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.0</b>	<b>46.7</b>	<b>48.3</b>	<b>50.0</b>	<b>44.2</b>	<b>▲ 5.8</b>
家計関連	51.1	46.7	50.0	52.2	44.6	▲ 7.6
小売	50.0	47.2	50.0	52.8	50.0	▲ 2.8
飲食	41.7	41.7	66.7	75.0	33.3	▲ 41.7
サービス	50.0	44.4	44.4	47.2	44.4	▲ 2.8
住宅	75.0	62.5	50.0	37.5	37.5	0.0
企業関連	37.5	50.0	43.8	37.5	37.5	0.0
雇用関連	58.3	41.7	41.7	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



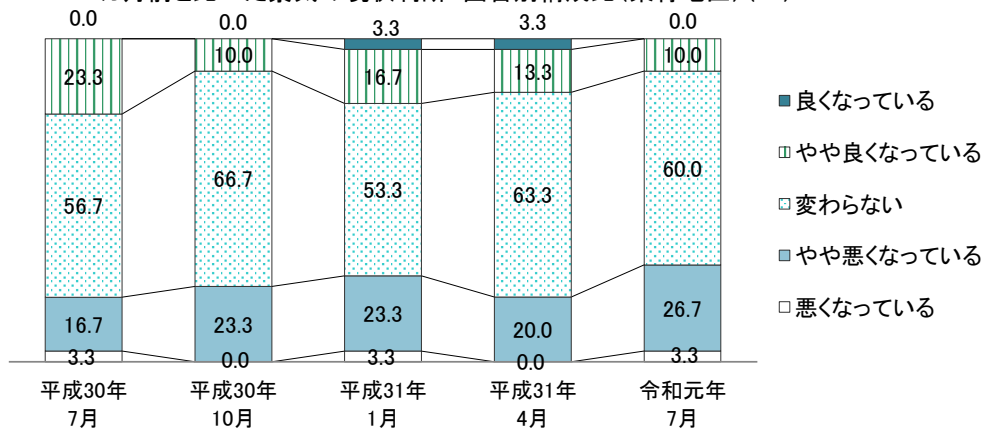
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0	▲ 3.3
やや良くなっている	23.3	10.0	16.7	13.3	10.0	▲ 3.3
変わらない	56.7	66.7	53.3	63.3	60.0	▲ 3.3
やや悪くなっている	16.7	23.3	23.3	20.0	26.7	6.7
悪くなっている	3.3	0.0	3.3	0.0	3.3	3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



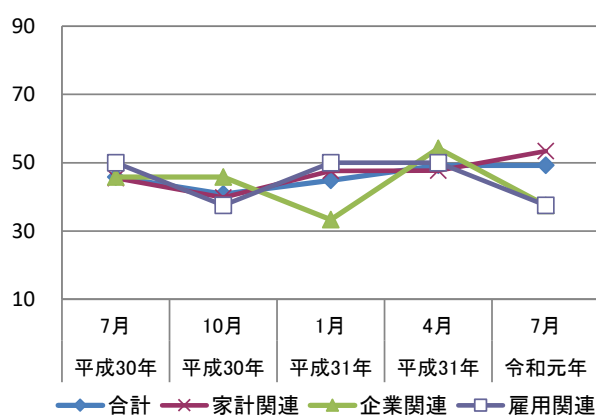
<津軽地区>

① D I

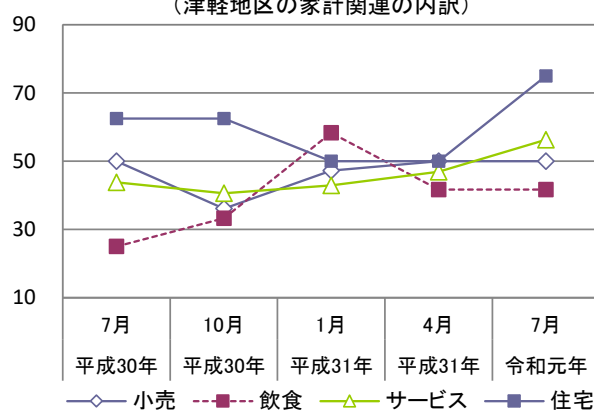
n = 30

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>45.8</b>	<b>40.8</b>	<b>44.8</b>	<b>49.2</b>	<b>49.2</b>	0.0
家計関連	45.5	39.8	47.6	47.7	53.4	5.7
小売	50.0	36.1	47.2	50.0	50.0	0.0
飲食	25.0	33.3	58.3	41.7	41.7	0.0
サービス	43.8	40.6	42.9	46.9	56.3	9.4
住宅	62.5	62.5	50.0	50.0	75.0	25.0
企業関連	45.8	45.8	33.3	54.2	37.5	▲ 16.7
雇用関連	50.0	37.5	50.0	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



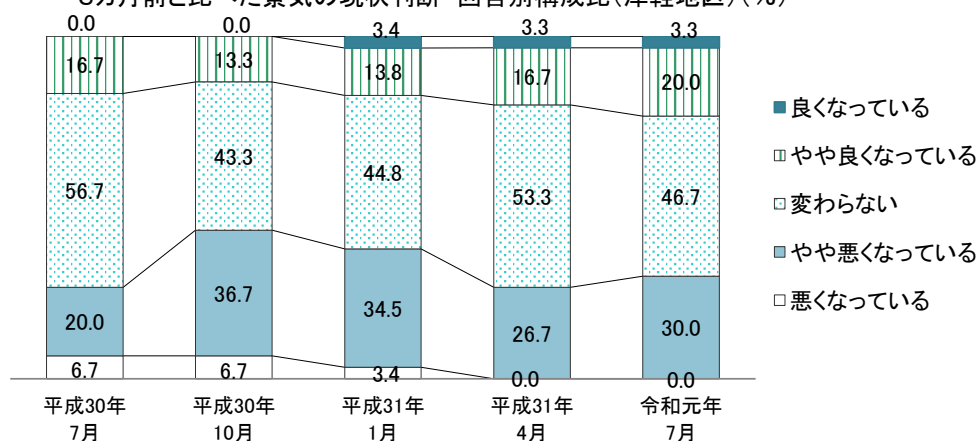
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	3.4	3.3	3.3	0.0
やや良くなっている	16.7	13.3	13.8	16.7	20.0	3.3
変わらない	56.7	43.3	44.8	53.3	46.7	▲ 6.6
やや悪くなっている	20.0	36.7	34.5	26.7	30.0	3.3
悪くなっている	6.7	6.7	3.4	0.0	0.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



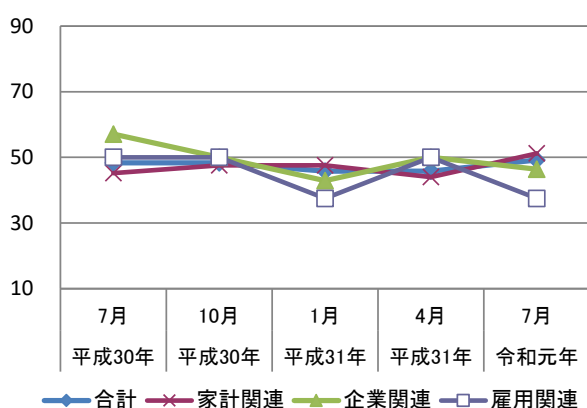
< 県南地区 >

① D I

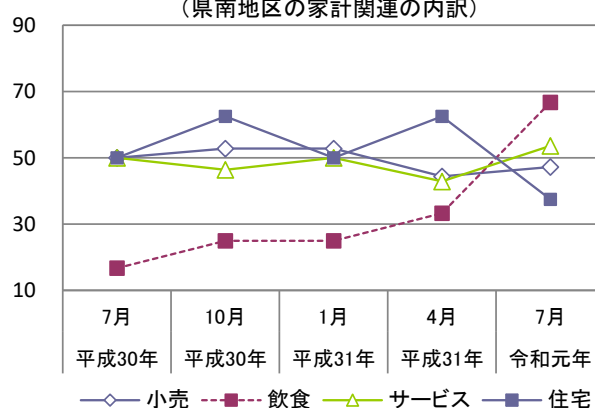
n = 30

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>48.3</b>	<b>48.3</b>	<b>45.8</b>	<b>45.8</b>	<b>49.2</b>	3.4
家計関連	45.2	47.6	47.6	44.0	51.2	7.2
小売	50.0	52.8	52.8	44.4	47.2	2.8
飲食	16.7	25.0	25.0	33.3	66.7	33.4
サービス	50.0	46.4	50.0	42.9	53.6	10.7
住宅	50.0	62.5	50.0	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	57.1	50.0	42.9	50.0	46.4	▲ 3.6
雇用関連	50.0	50.0	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



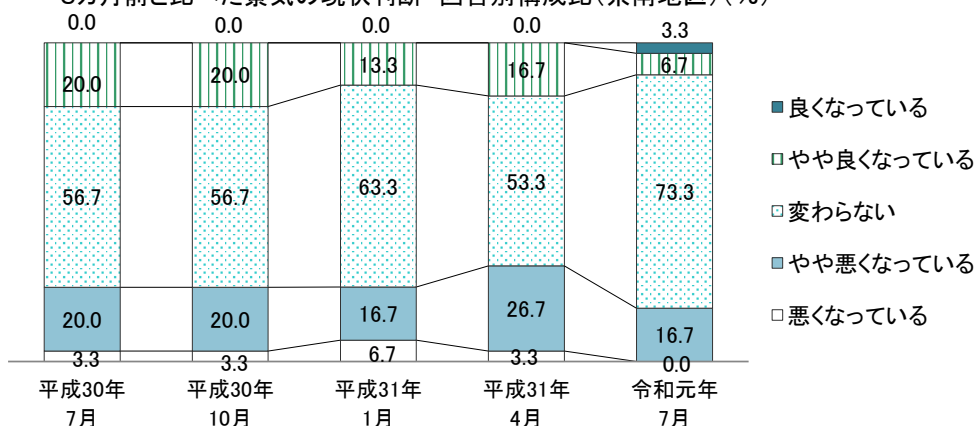
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	20.0	20.0	13.3	16.7	6.7	▲ 10.0
変わらない	56.7	56.7	63.3	53.3	73.3	20.0
やや悪くなっている	20.0	20.0	16.7	26.7	16.7	▲ 10.0
悪くなっている	3.3	3.3	6.7	3.3	0.0	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)





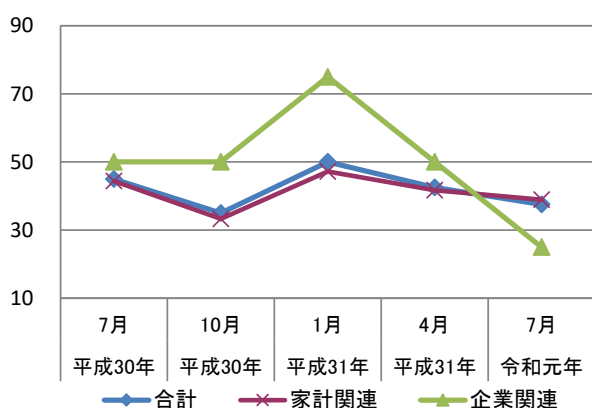
<下北地区> (参考)

①DI

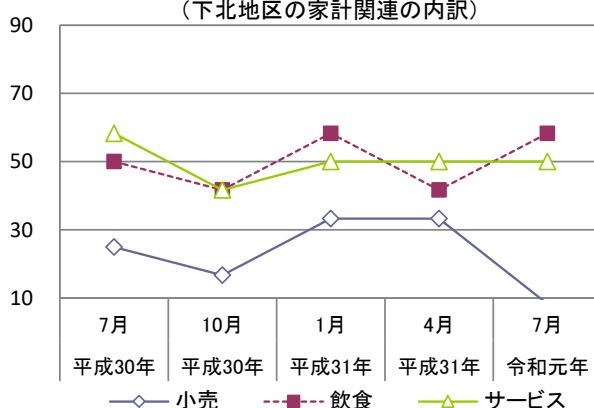
n= 10

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>45.0</b>	<b>35.0</b>	<b>50.0</b>	<b>42.5</b>	<b>37.5</b>	<b>▲ 5.0</b>
家計関連	44.4	33.3	47.2	41.7	38.9	▲ 2.8
小売	25.0	16.7	33.3	33.3	8.3	▲ 25.0
飲食	50.0	41.7	58.3	41.7	58.3	16.6
サービス	58.3	41.7	50.0	50.0	50.0	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	75.0	50.0	25.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



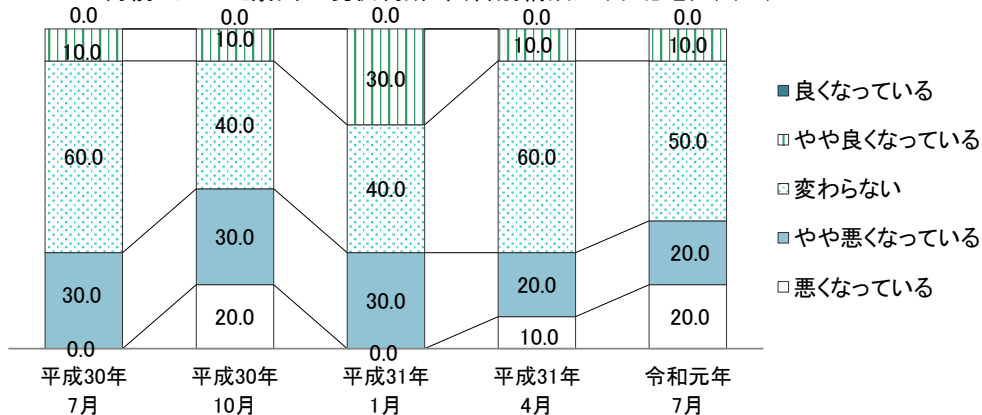
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	10.0	30.0	10.0	10.0	0.0
変わらない	60.0	40.0	40.0	60.0	50.0	▲ 10.0
やや悪くなっている	30.0	30.0	30.0	20.0	20.0	0.0
悪くなっている	0.0	20.0	0.0	10.0	20.0	10.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



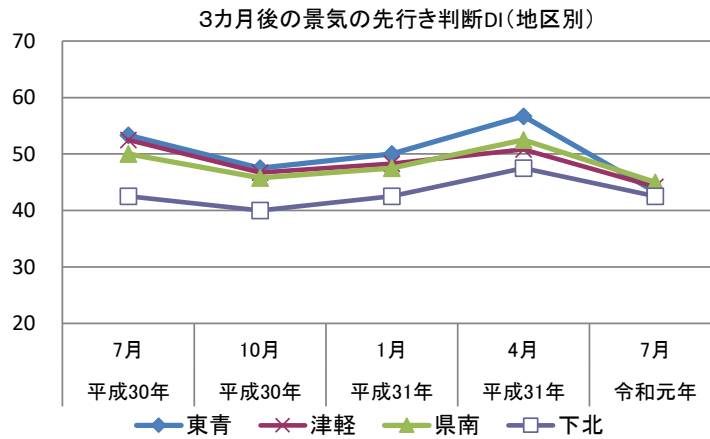
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

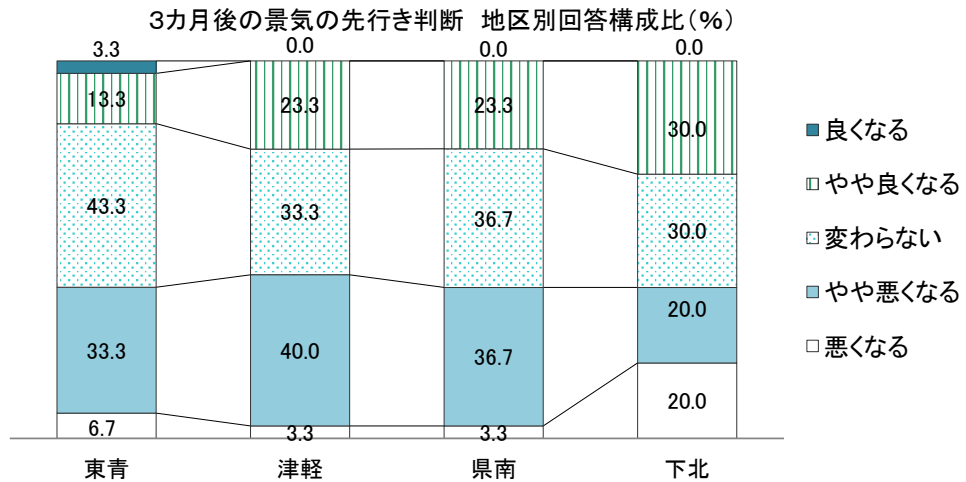
n= 100

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>51.0</b>	<b>46.0</b>	<b>48.0</b>	<b>52.8</b>	<b>44.0</b>	<b>▲ 8.8</b>
東青	53.3	47.5	50.0	56.7	43.3	▲ 13.4
津軽	52.5	46.7	48.3	50.8	44.2	▲ 6.6
県南	50.0	45.8	47.5	52.5	45.0	▲ 7.5
下北	42.5	40.0	42.5	47.5	42.5	▲ 5.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	13.3	23.3	23.3	30.0
変わらない	43.3	33.3	36.7	30.0
やや悪くなる	33.3	40.0	36.7	20.0
悪くなる	6.7	3.3	3.3	20.0



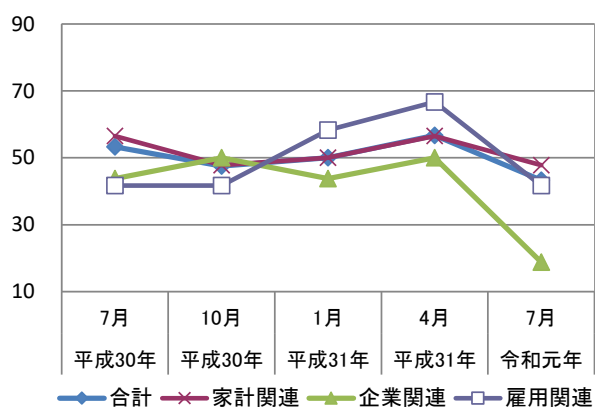
<東青地区>

①DI

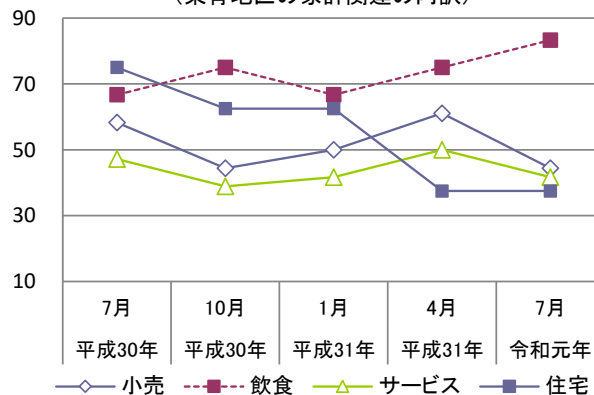
n = 30

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>53.3</b>	<b>47.5</b>	<b>50.0</b>	<b>56.7</b>	<b>43.3</b>	<b>▲ 13.4</b>
家計関連	56.5	47.8	50.0	56.5	47.8	▲ 8.7
小売	58.3	44.4	50.0	61.1	44.4	▲ 16.7
飲食	66.7	75.0	66.7	75.0	83.3	8.3
サービス	47.2	38.9	41.7	50.0	41.7	▲ 8.3
住宅	75.0	62.5	62.5	37.5	37.5	0.0
企業関連	43.8	50.0	43.8	50.0	18.8	▲ 31.2
雇用関連	41.7	41.7	58.3	66.7	41.7	▲ 25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



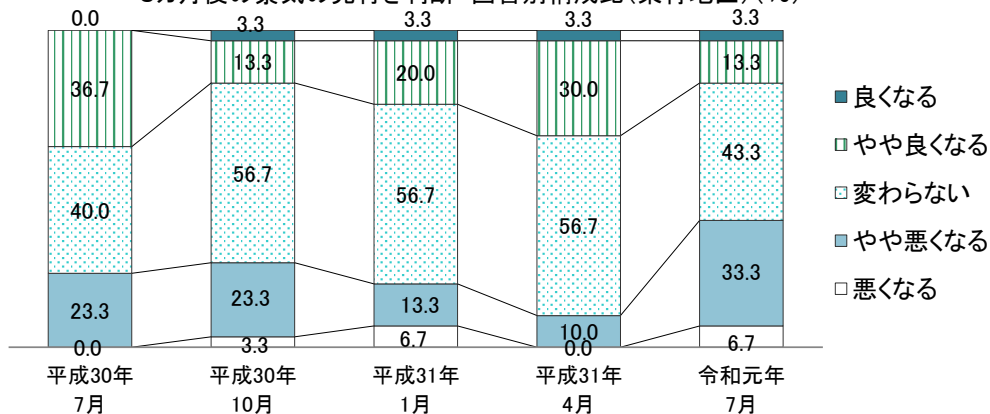
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなる	0.0	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	36.7	13.3	20.0	30.0	13.3	▲ 16.7
変わらない	40.0	56.7	56.7	56.7	43.3	▲ 13.4
やや悪くなる	23.3	23.3	13.3	10.0	33.3	23.3
悪くなる	0.0	3.3	6.7	0.0	6.7	6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)(%)



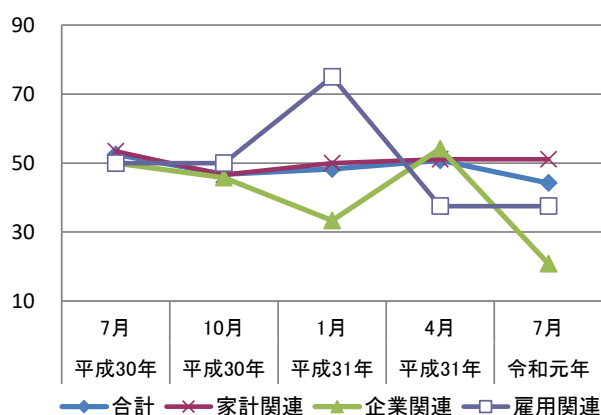
<津軽地区>

①DI

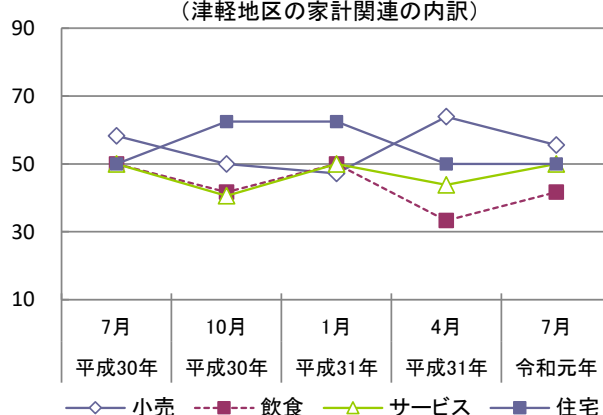
n=30

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>52.5</b>	<b>46.7</b>	<b>48.3</b>	<b>50.8</b>	<b>44.2</b>	<b>▲ 6.6</b>
家計関連	53.4	46.6	50.0	51.1	51.1	0.0
小売	58.3	50.0	47.2	63.9	55.6	▲ 8.3
飲食	50.0	41.7	50.0	33.3	41.7	8.4
サービス	50.0	40.6	50.0	43.8	50.0	6.2
住宅	50.0	62.5	62.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	50.0	45.8	33.3	54.2	20.8	▲ 33.4
雇用関連	50.0	50.0	75.0	37.5	37.5	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



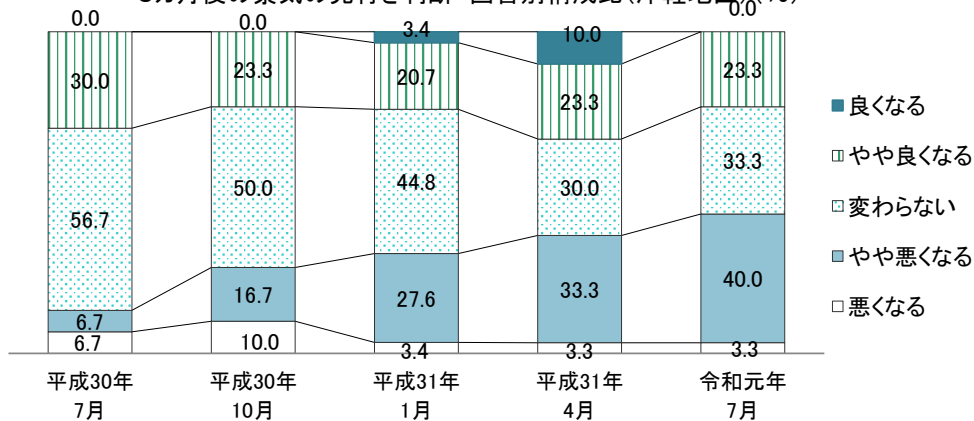
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	3.4	10.0	0.0	▲ 10.0
やや良くなる	30.0	23.3	20.7	23.3	23.3	0.0
変わらない	56.7	50.0	44.8	30.0	33.3	3.3
やや悪くなる	6.7	16.7	27.6	33.3	40.0	6.7
悪くなる	6.7	10.0	3.4	3.3	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



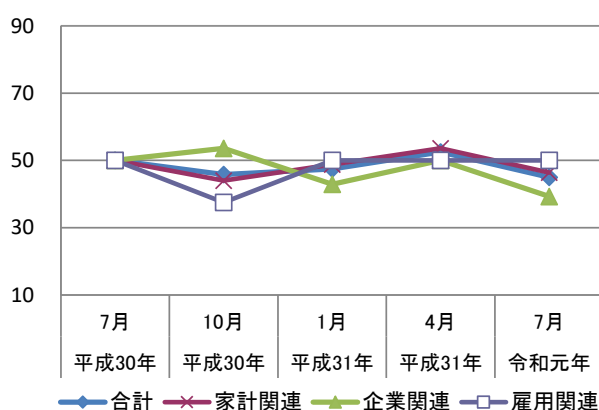
< 県南地区 >

① D I

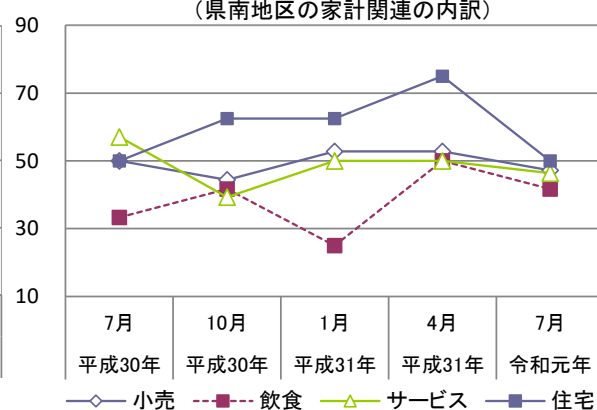
n = 30

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>50.0</b>	<b>45.8</b>	<b>47.5</b>	<b>52.5</b>	<b>45.0</b>	<b>▲ 7.5</b>
家計関連	50.0	44.0	48.8	53.6	46.4	▲ 7.2
小売	50.0	44.4	52.8	52.8	47.2	▲ 5.6
飲食	33.3	41.7	25.0	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	57.1	39.3	50.0	50.0	46.4	▲ 3.6
住宅	50.0	62.5	62.5	75.0	50.0	▲ 25.0
企業関連	50.0	53.6	42.9	50.0	39.3	▲ 10.7
雇用関連	50.0	37.5	50.0	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



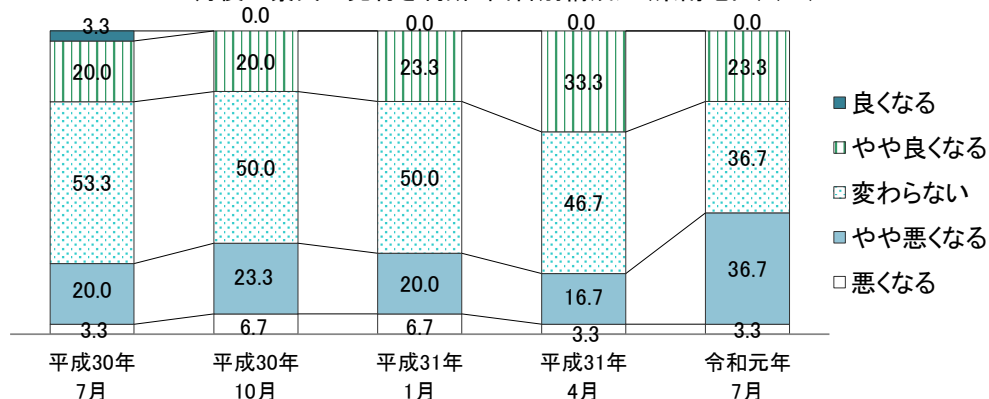
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなる	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	23.3	33.3	23.3	▲ 10.0
変わらない	53.3	50.0	50.0	46.7	36.7	▲ 10.0
やや悪くなる	20.0	23.3	20.0	16.7	36.7	20.0
悪くなる	3.3	6.7	6.7	3.3	3.3	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)(%)



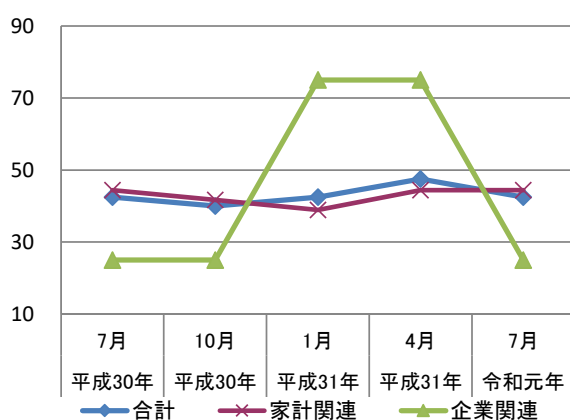
<下北地区> (参考)

①DI

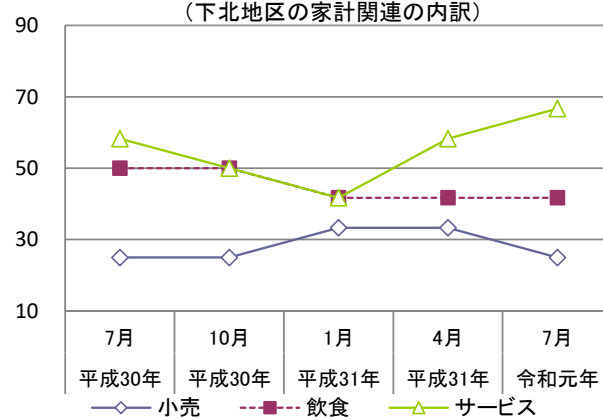
n = 10

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>42.5</b>	<b>40.0</b>	<b>42.5</b>	<b>47.5</b>	<b>42.5</b>	<b>▲ 5.0</b>
家計関連	44.4	41.7	38.9	44.4	44.4	0.0
小売	25.0	25.0	33.3	33.3	25.0	▲ 8.3
飲食	50.0	50.0	41.7	41.7	41.7	0.0
サービス	58.3	50.0	41.7	58.3	66.7	8.4
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	25.0	75.0	75.0	25.0	▲ 50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



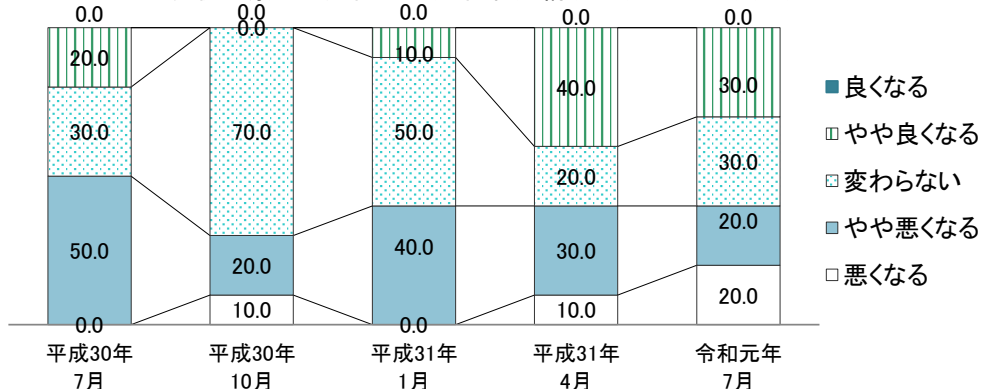
3カ月後の景気の先行き判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	0.0	10.0	40.0	30.0	▲ 10.0
変わらない	30.0	70.0	50.0	20.0	30.0	10.0
やや悪くなる	50.0	20.0	40.0	30.0	20.0	▲ 10.0
悪くなる	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	10.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)(%)



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
良くなっている	家計	津軽	一般小売店	4～6月の売上の伸び率による。	
		県南	スナック	宴会の予算が上がっている。	
やや良くなっている	家計	東青	コンビニ	天候が良くなってきた為。	
			一般小売店	観光シーズン突入による交流人口増。	
		津軽	家電量販店	販売実績が昨年度を上回っている。	
			観光型ホテル・旅館	閑散期に比べれば良くなっています。関東の方が来青されています。	
			美容院	増税前の買い物等。	
			設計事務所	民間の物件が増加している。	
		住宅建設販売	工事着工数が多いのと、お客様の来場数、動きが多い。		
		県南	商店街	街中の人通りが多くなっている。特にビジネスマン、作業着を着た人が目立つ。	
	観光名所等		6月中旬からサクラランボの販売を行っているため、客入数、売上共若干伸びつつある。		
	企業	津軽	電気機械製造	受注が増加しているため。	
変わらない	家計	東青	スーパー	客数は横ばい。客単価が微増ですが、販促強化によるもの。	
			乗用車販売	3か月前年比で横ばい。	
			家電量販店	人口減少による来客数の減少があり厳しい状況と感じる。さらに商圈住人の収入も増えていない為、使用される金額も増えることは無い。よって、景気はやや悪く、3か月前から変わっていない。	
			商店街	4月以降は好天が続き、春らしい季節となり、最近は、暖かく、夏らしい季節となり、半袖等夏物商品も動き出した！	
			卸売業	売上が上がらない。	
			スナック	変らなく悪いという事です。繁華街は毎日閑古鳥で悩んでいます。選挙のせいなのでしょうが解りません。	
			都市型ホテル	予約状況や売上も昨年並みであり堅調に推移している。	
			旅行代理店	売上前年比とほぼ同じ。	
			美容院	ただ今休業中です。	
			ガソリンスタンド	人口減少に歯止めがかからず、経済活動が縮小していく。	
			設計事務所	注目すべき出来事がないのは景気も左右されず変らぬ景色で社会が動いている。	
			津軽	コンビニ	同業者が増えているので売上は上がらない。
				乗用車販売	特に変化なし。
				卸売業	去年の同時期と比べて。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	一般飲食店	働き方改革で残業が減り、収入が減るため。また、従業員の勤務時間を減らす目的で休業日を増やす事業所が増えるため。
			レストラン	世の中景気が良いと言っているが飲食業は何故か下り坂ばかり。
			都市型ホテル	お客様の入り、売上げ共に横ばいであるから。
			観光名所等	4月～5月の連休はにぎわいましたが、6月に入り前年並みになった。
			パチンコ	特段の変化が見られないから。
		県南	コンビニ	働く人の数、働いている人の使えるお金は変っていない。
			衣料専門店	増税を控え、駆け込み需要を期待したいところだが、どちらかと言うと節約志向になっているのが感じられる。
			卸売業	景気の良い方と一般庶民の格差が有るが、人手不足により、今迄は希望できない職種にトライする事ができる底上げはできたと思う。
			一般飲食店	暑かったり、寒かったり天候の温度差が起因しているのも要因にあげられる。又、政治、経済が不安な所もあるのではと思われる。
			レストラン	異常気象なのか、気温も低く、ビールの動きもあまりよくない。
	旅行代理店		団体客の動向。	
	タクシー		昼も夜も特に人が少ない。特に10連休の後は感じられる。	
	美容院		あまり動きがない。必要な時期より少し遅れ気味な感じ。商品も辛抱している様に感じます。	
	ガソリンスタンド		特段目立った動きは感じられない。	
	下北	一般飲食店	売り上げが伸び悩んでいる。24時間営業の店だけがふえて来て、結構影響はある。	
		都市型ホテル	良くも悪くも平年並みです。	
		タクシー	観光客が少ない。	
		ガソリンスタンド	相変わらず景気が悪いです。昼間でも街が静まり返っていることがよくあります。	
	企業	東青	広告・デザイン	特に材料がない。
		県南	食料品製造	従来の人手不足による人件費上昇、原材料高に加え世界経済の不透明さが国内景気に水を差しているから。
			飲料品製造	季節的な変動、元号の改元、それにかからむ10連休などのハレ的な変動はドメスティックではあるが、その分、通常の消費の盛り上がり欠ける。
			建設	外での飲み会があっても、二次会などに行かず、そのまま家に帰る人が多くなったように思う。スナックやタクシー業界は皆嘆いている。
			経営コンサルタント	クライアントの状況を見ても、給与所得者の所得は確実に増大していると思います。所得の増加が景気に結びついていない感じがします。
広告・デザイン	業種によるとは思いますが、広告業界は特別新しい仕事もあまりなく例年と変わらないレギュラーベースの仕事がほとんど。			
雇用	東青	新聞社求人広告	値上げ、人手不足で、思うように企業活動の拡大ができない状況が続いている。	



現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	雇用	県南	新聞社求人広告	特に明るい材料がない。
やや悪くなっている	家計	東青	百貨店	競合店休業により客数は増えているが顧客の来店が少なくなっている。
			衣料専門店	再開発事業の関係から大型店が5月から休業になり人通りが激減している。
			一般飲食店	年号が変わって5月の長い連休の際はものすごく人の動きもあり、忙しかったですが、その反動なのか、その後人の動きがありませんでした。6月が近づくにつれ、だんだん活気も戻ってきましたが、天気、気温などとあまり良くなく、人の出るタイミングもいっしょでした。
			レストラン	やはり、大型連休の影響かな？去年とはまるでちがうような？街の空気感もちがうと思う。
			観光名所等	周りの人から10月に消費税増税になるため、消費をひかえると言っている人が多い。老後に2000万円必要だとニュースで聞いて不安でお金が使えない。
			住宅建設販売	10月の消費増税があり、さらに財布のヒモが固くなる感じがするため。
	津軽	スーパー	値上げ続きで、必要最小限の買物で済ますお客様が多い様に感じる。	
		衣料専門店	高い物が売れない。	
		商店街	来街者が減り、商店街の活気も減ったように思われる。GWの影響もあるのでは…	
		スナック	大型連休明けから飲食店街がひまになっている。	
	県南	百貨店	婦人衣料の不振と食品では水産業の漁獲高減。	
		設計事務所	当社は官公庁の仕事をしており、その業務の入札額の入れ具合により判断して。	
	下北	スーパー	お客様の購買意欲が乏しい。	
	企業	東青	食料品製造	何もかも値上りしているが、価格に反映できない、苦しい。
			経営コンサルタント	消費傾向は安いものが中心、高額品の増税前の駆け込み需要はこれからか。
		津軽	経営コンサルタント	老後の年金について不安を煽るような、テレビのワイドショーの偏向報道に影響を受ける中・高齢者の買い控え、人手不足と最低賃金引き上げによる人件費の高騰とそれを売上げに上乗せで転嫁できない中小事業者が多いこと。
広告・デザイン			受注件数、売上額等々が減少している。	
県南		電気機械製造	今のところはまだ人手不足で仕事をかかえている会社も多いようですが、輸出製造業を中心に仕事が減っているため、このままでは徐々に景気は悪化すると思われる。	
下北		食料品製造	年金問題、10月からの増税等でムードが悪い。	
雇用		津軽	新聞社求人広告	夏物商戦がいま一つ盛り上がり欠けている。景気のいい話が聞かれない。
		県南	人材派遣	人材不足（派遣する労働者も少なくなっている）
悪くなっている	家計	東青	タクシー	春の10連休の悪い余波がまだ個人消費に残っている上、子供のいる家庭では夏休みに向けて、また全般的には秋の消費税増税に向けて「無しで済ませられる消費活動」については完全に引き締めに入っているようです。生活関連の諸物価の上昇も更に追い打ちをかけていると思われる。
			下北	コンビニ
		一般小売店		消費増税前で、生活防衛に入ったのか、買い控え、来店客減少。ご年配の来店が大幅に減っております。

## (2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	天候次第な面もありますが夏季にむけての準備も行っていますので、集客もでき人手も回復すると思います。
やや良くなる	家計	東青	一般小売店	ねぶた祭需要の高まり、観光客増。
			レストラン	連休から数か月たち、活気が戻ってきたような…
			スナック	今より多少なりと良くなるように期待しております。営業には努力しているのですが…。
			旅行代理店	増税前の駆け込み需要が予想される。
	津軽	百貨店	増税前の駆け込み需要が出てくるため。	
		家電量販店	増税前の商品駆け込み需要が増す。	
		一般小売店	消費税の上がる前だから、やや良くなる以上にならないと困る。	
		商店街	今年の「さくらまつり」は例年以上に盛り上がった。「弘前ねぶた」や、その他たくさんのイベントが開催しますし、夏休みもありますのでかなり期待している。	
		卸売業	秋から繁忙期のため。	
		観光型ホテル・旅館	紅葉シーズンに入る為インバウンドが動いています。(台湾)	
	県南	家電量販店	増税前に業界的に一時需要が上がる為。	
		一般小売店	中心街でしばらく空家だったテナントやビルに新たな店子が入り、今より少しは良くなる予感がする。	
		商店街	屋内スケート場のOPEN等で人が今以上に動きそうに感じる。	
		美容院	参院選も終り、五輪に向け気持の高揚と活気を期待します。	
		住宅建設販売	消費税増税前の駆け込み需要による。	
	下北	スーパー	消費税率のアップに伴ない、少し良くなりその後悪くなる、と思われる。	
		タクシー	夏祭りシーズンに期待して。	
ガソリンスタンド		祭りなどの観光シーズン、お盆の帰省シーズンがはじまるので。		
企業	県南	経営コンサルタント	9月までに、消費税導入前の、駆け込み需要が起こると思います。	
雇用	県南	新聞社求人広告	屋内スケート場の完成や、消費税増税前の駆け込み需要に期待。	
変わらない	家計	東青	コンビニ	必要な物以外にお金を使わなくなっている。
			スーパー	7~9月は天候・気温に左右される。冷夏にならないことを祈っています。
			商店街	従来との変化も無く、経済的には10月以後の消費税upだけが重い為、9月までの需要は活発だと思われるが、10月以後に懸念される！
			卸売業	祭り、お盆には期待したいと思う。

先行き	分野	地区	業種	理由	
変わらない	家計	東青	パチンコ	消費税増税に備えて消費支出を控えているような雰囲気になります。	
			設計事務所	増税前に一瞬活発な動きが出るのか。	
		津軽	コンビニ	コンビニエンスが増えているので変わらない。	
			スナック	消費税のupでボーナスが出て消費してくれる人が少ない。	
			パチンコ	特段の変化が見られないから。	
			設計事務所	新規物件の受注は時期的でピークを過ぎた。ここ数カ月は現在手掛けている物件の完成に向けた作業が中心となるため。	
			住宅建設販売	10月消費税upまでは、このまま推移。	
			県南	コンビニ	仕事は有っても働く人が足りてなく、仕事をとれないという状況が続いているのでは。
		スーパー		増税前に消費が進み、見かけはよく感じても、実質的には変化なし。	
		衣料専門店		政治状況含めて変化率が無い。変化の無いことが全体感で望まれている。	
		一般飲食店		毎年そうであるが、7、8月は行事があるので今よりは良いはず。昨年との比較ではダウンするのではと思われる。天候が大きな要因になるのでは？	
		レストラン		屋内スケート場に期待したい！	
		観光名所等		商品に変化がないため、このままゆるやかでいくと思われる。	
		タクシー		参院選の後は、予算も少しは増えるのかなあ？やっぱりオリンピック及び災害の方が優先されるだろう。	
	ガソリンスタンド	消費税増税の動きが気になるが、急激な変化はないように思われる。			
	企業	県南	都市型ホテル	飲料品製造	良くなる要素は見当たらず、消費税増税によっては悪くなるかも。
				消費増税10%の影響での駆け込みが多少発生するかもしれないが、プラスマイナスゼロ？	
	雇用	津軽	新聞社求人広告	10月の消費税10%に向け、よくなる要素がみあたらない。増税前の駆け込み需要がどの程度あるのか、現状では推し量れない。	
やや悪くなる	家計	東青	百貨店	増税で買い控えが想定される。	
			乗用車販売	お客様の反応が鈍く感じる。	
			衣料専門店	大型店が休業している、人通りが減になっていることを考えると悲観的な見方が多い。冬場閉店店舗前の歩道確保も頭が痛い、叫びたい！	
			都市型ホテル	春先からの食品関係の仕入価格上昇があり、商品販売単価の見直しにより今後、売上への影響が懸念される。	
			タクシー	現在でも悪い状態が更に緩やかに悪い方向に向かうという意味でややという表現を選択しました。	
			住宅建設販売	消費増税の影響が大きく、給料が上がらない。将来の不安（年金）も重なって気持ちが下がってしまうため。	
		津軽	スーパー	増税前の駆け込み需要が9月にあるとしたら、10月にはその反動が出る。	
			乗用車販売	消費税増税など悪くなる気がする。	
			都市型ホテル	消費税増税、働き方改革、世界的な経済不安等、良い要素が無い。	
			観光名所等	米中問題、韓国との関係など先行不透明感。インバウンドの来青状況にも影響があるかも。選挙の状況、消費税値上。	

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなる	家計	県南	卸売業	軽減税率が始まる頃で、消費者はポイント還元之恩恵を受ける機会が増えるが、販売業者の手数料負担etc. が重くのしかかり、景気は悪化していく。	
			スナック	今が良いので。きっとおちつくと思う。	
			旅行代理店	米中、EC。	
			パチンコ	消費税の増税や、今後の先行きが不安定なため。	
			設計事務所	政府の経済対策の勢いが7月の選挙後は弱くなると思われる為。	
	企業	東青	経営コンサルタント	食料品製造	食費は、節約を考えると一番に削ろうとなるのではないのでしょうか。
				消費増税前の駆け込み需要は多くは望めない。むしろ増税後の需要落ち込みが心配される。	
		津軽	経営コンサルタント	食料品製造	消費税の影響。
				飲料品製造	資材等の値上での商品も値上しているので売上が減少している。
				消費増税の税率が上がることにより、買い控え、節約のムードが高くなって行くのではないか。	
				広告・デザイン	物件見込数が減少していて、見積依頼数も増加していない。又、製品単価も上昇していない。
		県南	経営コンサルタント	食料品製造	これまでの景況感の悪さが秋の消費税増税で増幅されるから。
				電気機械製造	東京のホテルやビジネスで使う飛行機便が取りやすくなった。一方で建設や観光はまだ盛況のようなため若干下支えされつつ徐々に景気は悪化していきそうに見える。
				建設	消費税upが控えており、消費は落ち込む。様々な分野で減税対策が発動されるようだが、消費の落ち込みをカバーできる魅力ある対策はないと思う。
				広告・デザイン	広告に関しては、それぞれの企業が自ら制作作業をしている場合が多くなっていて、わざわざ広告代理店に依頼する必要がないことも多い。
				下北	食料品製造
		雇用	東青	新聞社求人広告	消費税増税の反動減が予想される。
			津軽	人材派遣	今年10月より消費税増税が予定されているが、その影響で消費が落ち込むと思う。思い起こすと2014年4月に5%から8%に増税された際は、小売り値上げに大きくマイナスの影響を受けた。今回も同じだと思う。
		悪くなる	家計	東青	観光名所等
県南	百貨店				消費税増税の影響。
下北	コンビニ			2000万問題と消費税値上げで、消費マインドは下がりっぱなし。	
	一般小売店			老後2000万不足のニュースは、小売業にとって大変痛手となるニュースです。年金世代、現役世代、全ての世代の購買意欲を削いでしまいます。	
企業	東青		広告・デザイン	消費税増税による消費の停滞。	
	津軽		電気機械製造	米中の影響で先の見通しがつかないため。	

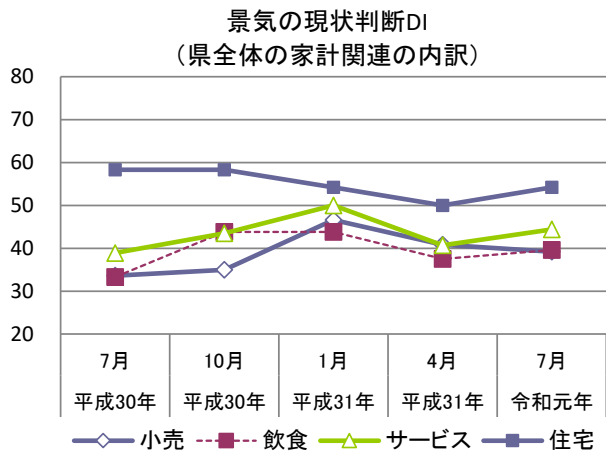
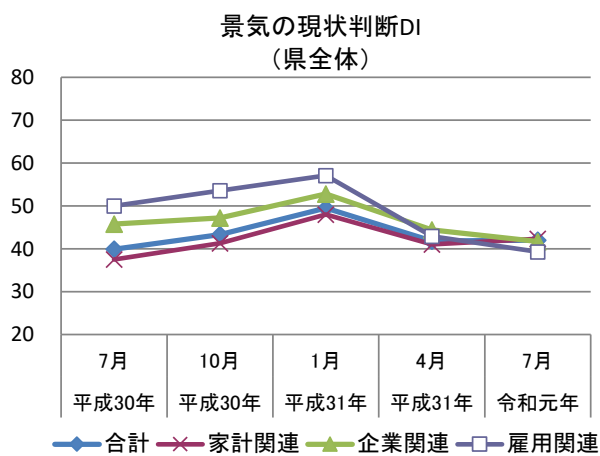
## 5. 参考

### (参考1) 景気の現状判断

#### ①DI

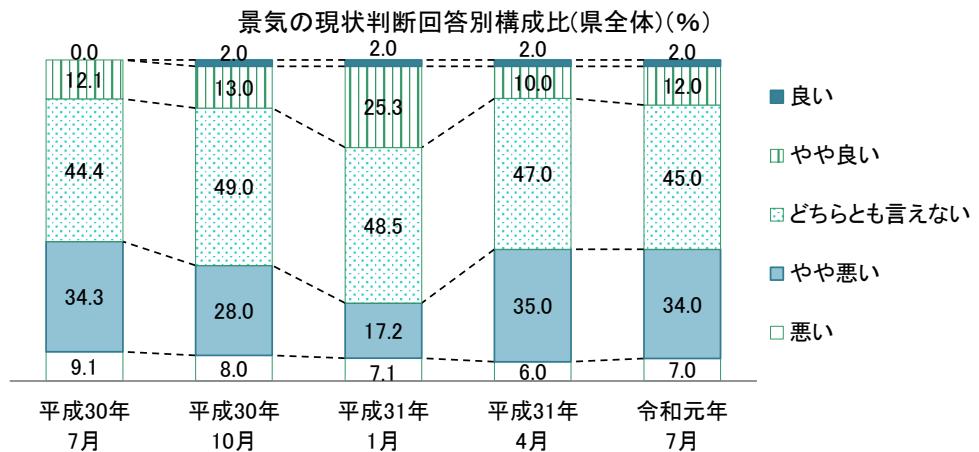
n= 100

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>39.9</b>	<b>43.3</b>	<b>49.5</b>	<b>41.8</b>	<b>42.0</b>	0.2
家計関連	37.5	41.3	48.0	41.0	42.3	1.3
小売	33.6	35.0	46.6	40.8	39.2	▲ 1.6
飲食	33.3	43.8	43.8	37.5	39.6	2.1
サービス	38.9	43.5	50.0	40.7	44.4	3.7
住宅	58.3	58.3	54.2	50.0	54.2	4.2
企業関連	45.8	47.2	52.8	44.4	41.7	▲ 2.7
雇用関連	50.0	53.6	57.1	42.9	39.3	▲ 3.6



#### ②回答別構成比(%)

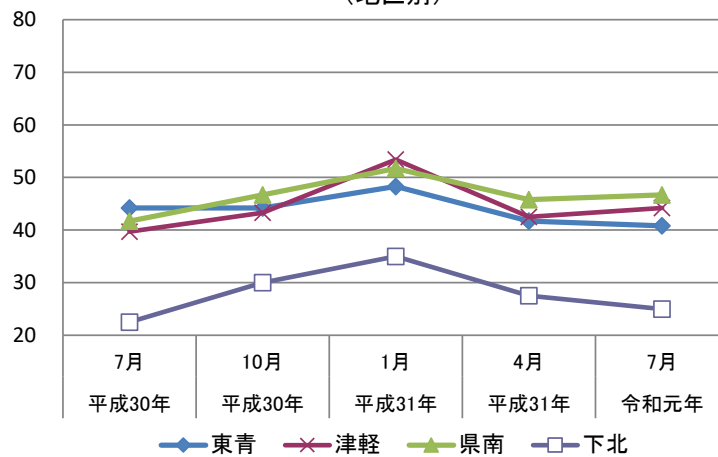
	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
良い	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0
やや良い	12.1	13.0	25.3	10.0	12.0	2.0
どちらとも言えない	44.4	49.0	48.5	47.0	45.0	▲ 2.0
やや悪い	34.3	28.0	17.2	35.0	34.0	▲ 1.0
悪い	9.1	8.0	7.1	6.0	7.0	1.0



③地区別DI

	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	令和元年 7月	前期調査 との差
<b>合 計</b>	<b>39.9</b>	<b>43.3</b>	<b>49.5</b>	<b>41.8</b>	<b>42.0</b>	0.2
東青	44.2	44.2	48.3	41.7	40.8	▲ 0.9
津軽	39.7	43.3	53.4	42.5	44.2	1.7
県南	41.7	46.7	51.7	45.8	46.7	0.9
下北	22.5	30.0	35.0	27.5	25.0	▲ 2.5

景気の現状判断DI  
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	乗用車販売	ネットでの問い合わせが多くなっている。
家計	東青	衣料専門店	商店街で行われた春の連休イベントでQR決済業者とタイアップ事業を展開したことが報道で全国的に伝わり業者の問い合わせが増えている。商店街のキャッシュレス化対応には情報収集に努めているがなかなかやっこしい、消費税対策で機能するのだろうか心配だ。
家計	東青	一般飲食店	令和をむかえ来年はオリンピックですが、人の希望の他、増税などがまっっており、経済がどのようになっていくのかかなり思いきったそれぞれの判断と対応ができないと生き残るのもむずかしいなと思っています。
家計	東青	レストラン	ゴールデンウィークが終り、その反動は大きいと思っていたが、予想通り、街が静か！！今年は知事選などもあり、やはり、選挙は影響するものだなと思った。そして年金問題！！が大きいのでは…また、お盆辺りに大型連休があるので、どうなるものやら…
家計	東青	観光型ホテル・旅館	青森市でスポーツコミッションが発足。具体的活動内容に注目している。
家計	東青	観光名所等	最近、外国人が多くみられます。
家計	東青	住宅建設販売	建築資材の値上がりが進んでいるが、購入者の値段をおさえる意識が強くギャップを感じる。
家計	津軽	一般小売店	8月の大型百貨店内の「アウトレット」オープンに期待している。ターゲットが商圈100万というので、土手町に来て欲しい。
家計	津軽	商店街	弘前の中心市街地にて、大型店や、老舗の閉店が続いているのが寂しい。
家計	津軽	コンビニ	増税前の不動産買い等が多いと聞いている。小売業は、レジでの対応などが大変だと思う。
家計	津軽	スーパー	労働力不足が話題となる中、人員不足により閉店する(した)店舗など見受けられる中、新しい商業施設ばかり増え、労働不足に拍車がかかっている様に感じる。行政側で、新規出店を抑制できないものか？中小企業の倒産、閉店などが増えていくと思うので。
家計	津軽	観光名所等	細い仕入等で駆け込み値上げ、朝市参加者が高齢、人手不足等で参加不可が目立つ。
家計	津軽	住宅建設販売	先ず基礎、大工の職人が足りない。受注しても、工事に着手するのを懸念する。
家計	津軽	旅行代理店	報酬は変わらないが、物価だけ上がっているように感じられる。
家計	県南	一般小売店	八戸市の中心街では、美術館、マンション等、いくつかの大きなプロジェクトが進行中であり、それら全てが連携して人の流れが今より良い方向に動くと思っている。
家計	県南	卸売業	旅行業者の企画、JRの休日倶楽部の周知により、うまく利用して楽しんでいる人を多くみる。働き方改革により休日も増えているので、是非、そういう計画をたててみたいと友人と話しているそんな人をうまく囲い込みできる業者が青森県で増えると良いと思います。
家計	県南	一般飲食店	原材料up、消費税増税、人不足と問題が山積の中、ローカルの中小企業をどうサポートしていただけるか、行政の腕の見せどころか。当然、自助努力は当たり前だが。
家計	県南	コンビニ	コンビニ24時間営業について、本部よりアンケートがありました。
家計	県南	レストラン	売り上げを上げたいときに、人手不足…。
家計	県南	スーパー	今の段階で九州の豪雨が日本全体に与える影響は大きいと思われる。農産物、食品の値上がりは避けられないのでは？
家計	県南	家電量販店	少子高齢化。やはり、来店客数の減少が進んでいる。
家計	県南	タクシー	外国人観光客も来てはいるけれども、タクシーを使わない。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	美容院	少子高齢化のせいか、幼児、子供の活動が全然見えないし、子供売りの縮小が気になります。
家計	県南	観光型ホテル・旅館	韓国からのお客様は減る可能性あり。
家計	下北	コンビニ	買い物を玉銭で支払う人が増えた。
家計	下北	一般飲食店	これと言った動きはないのでもう少し見守りたいです。
企業	東青	建設	令和時代に入り2カ月が経過した。新しい時代は20代30代の創造的な若手に任せる事で活路が開けると信じております。（若い世代は将来に希望を持っています）
企業	津軽	食料品製造	太宰効果結構あると思います。本を買ったりイベントに出かけたり、自分でもにわかファンになりました。
企業	津軽	電気機械製造	コネクタ業界において9月以降が不透明な状況になっている。
企業	津軽	飲料品製造	青森県をもっとPRして観光客を呼んでほしい。
企業	津軽	建設	今年最後の選挙と思われる参議院選挙の結果によって、消費税は増税、ストップか。増税による対策も組み込みになっているのだから、今さら変更は出来ないのではないかな。でも実際に景気はよくないのは確かと思う。2020年オリンピック効果は地方にどれくらいの恩恵を受けることができるのだろうか。
企業	津軽	広告・デザイン	東京を中心として、オリンピック関連の仕事量は沢山有る様だが、反面、県内では建設工事が少なく、業者は近年で最も暇。
企業	県南	電気機械製造	若かったり、政治力や経営センスのある市長のいる街は活性化の話題が多くなる。この先、5年～10年たった時に人の集まる街になりそうであらやましい。財政豊かだが政策に特色のない当市の未来は…？
企業	県南	経営コンサルタント	若い労働力が、どんどん青森県から流出しているのではないかな。給与を上げて、募集しても申し込みが全然来ません。
企業	県南	広告・デザイン	東京、大阪に関しては、これからの状況に応じて景気が上向いていると聞くが、地方においてあまり恩恵はない。
雇用	東青	新聞社求人広告	食品、生活用品の値上げが、節約志向、買い控えにつながっているように感じる。
雇用	津軽	人材派遣	最近周りの人たちと、今年10月に実施される消費税増税の話題が多い。所得が増えない中、消費税増税分買い物を控えるという方の意見が多い。



# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

#### ○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

#### ○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
  - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断  
参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断に以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ  
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038